

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立平野区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課(電話:06-6208-8054)
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合
数値目標	84.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(H30年度～令和2年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市平野区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	84.6%
年度実績	87.5%
達成率	103.4%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	23,668	12,573	11,095

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	20,804,991	20,420,000	534,991	-
	計画	20,270,000	20,420,000		
その他	実績	17,060	6,956	17,060	-
	計画	0	0		
合計	実績	20,822,051	20,426,956	552,051	-
	計画	20,270,000	20,420,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	14,748,110	14,891,452	-151,890	-
	計画	14,900,000	15,600,000		
物件費	実績	6,093,141	6,035,572	723,141	光熱費及びWi-Fi設置工事費並びに広告費の増。
	計画	5,370,000	4,820,000		
合計	実績	20,841,251	20,927,024	571,251	-
	計画	20,270,000	20,420,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	103.4%	B	感染症による影響がある中で、本市が定める水準を達成している。

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗品の節約及び節電並びに比較見積調達による経費節減。	B	消耗品の節約を行うなど、市費の縮減に努めた。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・消防避難訓練を複数回(1回は消防署立ち合い)実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、入口での手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・アウトリーチサービスとしてZOOMを利用し、サテライト方式にて座学セミナー1回、体操講座を2回開催するなど、工夫しながら運営している。
施設の有効利用	B	・認知症カフェ開催に向け、平野区オレンジチーム及び地域包括支援センターと連携するなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、消耗品の節約を行うなど実効性のある取組を行っている。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>(1)調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施</p> <p>(2)回答者336人(未記入者含む)</p> <p>(3)質問項目 ア 基本的な事項(年齢、居住区等) イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等</p> <p>(4)結果 ・総合満足度において、満足(やや満足)と回答される方が87.5%となっており、利用者の満足度は非常に高い。</p>

6 外部専門家意見

<p>1 PDCAに沿って、何をしたかったのか、どうしたのか、どういう課題が見えてきたのか、今後どう展開するのかというところまで全て押さえ記載していただいているので、実際の活動をイメージしやすく、実際に成果を出している。また、講座を行うだけでなく、同好会に繋がるためのサポートを行っている点についても評価できる。</p> <p>2 センターだよりは、広く情報発信に貢献する媒体であるため、文字の大きさ及び事業報告のレイアウト・同好会情報の毎月掲載の必要性について検討していただきたい。</p> <p>3 高齢男性及び若い世代(60代)に対するアプローチを具体的に考えながら取り組んでいることから、引き続き高齢男性が主体として活動できるような参加・利用促進について検討していただきたい。</p> <p>4 利用者が企画段階からセンターの企画運営に主体的に取り組めるよう働きかけを行っていただきたい。</p>
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見									
成果指標の達成	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった事業もあった中、停止していた同好会を再開するなど、利用促進に努め、事前に設定した目標値を上回った。									
市費の縮減	B	光熱水費の高騰やサテライト講座用のWi-Fi設置工事などにより支出が多くある中、消耗品の節約を行うなど、市費の縮減に努めた。									
管理運営の履行状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">施設の設置目的の達成及びサービスの向上</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td rowspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> ・基本協定書に基づく施設の維持管理を実施しており、施設の状況を把握して修繕を行い、利用者にとって快適な環境整備を行った。 ・昨年度外部専門家からの指摘及び所見のあった、施設の立地位置により来館しにくい方のために、アウトリーチサービスとして、ZOOMを利用したサテライト講座を開始するなど、改善を行った実績は評価できる。 ・高齢者と子どもの世代間交流事業を来期に向けて、子育てプラザと計画していることをはじめ、見守り支援が必要な高齢者の情報を地域包括支援センター等と共有することで相互連携強化を行った。 ・個人情報の保護や情報公開について、適切に取り組みを行い、社会的責任を果たしている。 </td> </tr> <tr> <td>施設の管理運営</td> </tr> <tr> <td>事業計画の実施状況</td> </tr> <tr> <td>施設の有効利用</td> </tr> <tr> <td>社会的責任・市の施策との整合性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定書に基づく施設の維持管理を実施しており、施設の状況を把握して修繕を行い、利用者にとって快適な環境整備を行った。 ・昨年度外部専門家からの指摘及び所見のあった、施設の立地位置により来館しにくい方のために、アウトリーチサービスとして、ZOOMを利用したサテライト講座を開始するなど、改善を行った実績は評価できる。 ・高齢者と子どもの世代間交流事業を来期に向けて、子育てプラザと計画していることをはじめ、見守り支援が必要な高齢者の情報を地域包括支援センター等と共有することで相互連携強化を行った。 ・個人情報の保護や情報公開について、適切に取り組みを行い、社会的責任を果たしている。 	施設の管理運営	事業計画の実施状況	施設の有効利用	社会的責任・市の施策との整合性				
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B			<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定書に基づく施設の維持管理を実施しており、施設の状況を把握して修繕を行い、利用者にとって快適な環境整備を行った。 ・昨年度外部専門家からの指摘及び所見のあった、施設の立地位置により来館しにくい方のために、アウトリーチサービスとして、ZOOMを利用したサテライト講座を開始するなど、改善を行った実績は評価できる。 ・高齢者と子どもの世代間交流事業を来期に向けて、子育てプラザと計画していることをはじめ、見守り支援が必要な高齢者の情報を地域包括支援センター等と共有することで相互連携強化を行った。 ・個人情報の保護や情報公開について、適切に取り組みを行い、社会的責任を果たしている。 							
施設の管理運営											
事業計画の実施状況											
施設の有効利用											
社会的責任・市の施策との整合性											
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的や、地域のセーフティネットとしての役割を理解して運営できている。感染症の影響もある中で、同好会の再開にあたって、サークル別に特別な感染対策の制限を設けるなど、実施手法の工夫・関係機関との連携で事業実施したことは評価できる。 ・法人の強みを活かして更なる地域福祉団体の連携を深め、愛称「ひらりん」となり、「老人」とつくセンター名に抵抗があった方の利用促進を図るとともに、『ひらりんメール(センターだより)』を活用し積極的な広報活動を行った点は評価できる。 今後は、外部専門家の意見にもあるように、文字の大きさ・レイアウト等、様々な観点で検討をお願いしたい。 ・全般において、本市が期待する管理運営を行っている。									